

H. P. Report

ユビキタスからホモユビキタスへ (6)

最後にユビキタスネットについての私見を述べさせていただきます。ここ数年ネットワークの発達はめざましいものがあり、気づかないうちにネットワークの中に住んでいるというのが現実です。これまでの情報というのは伝聞で始まり、書物などの書き物から瓦版、新聞と日本では情報伝達のシステムが構築されてきました。次にリアルタイム性のあるラジオやテレビになっても新聞は情報伝達の1つとして残っています。しかしこれらのものは新聞社や放送局で作られた情報を一方的に受け取るものでしたが、インターネットになって受け取り側の意識がそれにかかわりをもつことが出来るようになりました。また、情報の1つであるコミュニケーションについても直接会う、電話をする、手紙を交換するなどの方法からポケベル、携帯電話やパソコンの電子メールとなってきています。今現在私たちはいろいろなものから情報を得るようになってきています。テレビやラジオはもちろんのこと、携帯電話やパソコンを使ったインターネットなど、印刷物、動画、音声、キャラクタ、アニメーションなども情報の一部です。その内容は、ごく一般的な情報から、個人的な情報、不特定多数に対するものから1対1のものまで情報として流れています。それがこれまでは受動的なテレビ、ラジオは情報としての自覚を持っていましたが、インターネットによる情報交換は、一般的というよりも受け取り側にとっては個人的な情報交換となっています。そのさらに発展形として出てきたものがユビキタスネットのような気がします。確かに、情報通信の発達によっていろいろなところでいつでも誰でも自由に情報のやり取りができるようになってきています。考え方を替えれば大きなビジネスチャンスであり、この波に乗り遅れることは企業存続の危機になるかもしれません。しかし、その流れに身を任せてしまうことは大丈夫でしょうか。確かにこれまで書いてきたとおり、いつでもどこでもどの機器もがネットワークに接続されている状態はいつでも必要なデータを取り出せるという意味では便利になるものだと思います。インターネットの中にコミュニティを形成し、その中で情報のやり取りを行い、その中でコミュニケーションを取り合う世界は、バーチャルでありまたリアルでもあります。つまり、現実とは別の世界の中での情報交換ではあってもその情報をもとに取り合うものは現実のものであったり製品で会ったりするわけですからリアルな世界であるわけです。バーチャルな世界と現実の世界が区別できなくなるようになってしまったときが不安な部分です。情報には正しいものと間違っただけのものがあります。また、誠実なものと思われていたものが悪意を持ったものがあります。その区別は誰がするのか。絶対がない限り区別は誰にもできないのではないのでしょうか。情報を受けたものが自分で判断するしかないのです。個人での情報のやり取りが全世界的にリアルタイムで出来るインターネットでは、いろいろな情報が飛び交っています。その中のものがすべてだと思えるようになった人は思想誘導、洗脳を行うことは簡単です。これまでのようになかなかすべてを得ることのできなかつたこれまでの環境ではそれほど問題なかったでしょうが、ユビキタスネットの世界ではすべてがネットワークから情報として得ることが出来ます。その情報が操作できればその人を思いのままに動かすことも出来ます。それに対応できるような環境、教育がなされない限りユビキタスネットの世界はいいことばかりではないと思います。便利なもの、チャンスとばかりもいついていられません。これからは、便利そうなものに対しては一步下がって、全体を十分見たうえで受け入れていく必要があるような気がします。

(連載終了)

(情報誌トピックス)

○日経エレクトロニクス 9月24日号

特集 PDA、夜明け前

→1990年代初頭からポスト・パソコンと呼ばれ続けてきたPDA(携帯型情報端末)が無線によるネットワークの発達によって改めて各メーカーが注目し始めている。これまでは十分な性能がないためごく一部の利用しかなかったが、これからは、誰でもがいつでも使えるものとして注目されてきている。

解説 「栄光よ再び」、米Intel社MPU開発体制を全面見直し

→出口の見えないパソコン不況。インテルはこれまで同じアーキテクチャのMPUをさまざまな市場に売り込もうとしてきたが、その方向を転換し、ノート用とサーバ用の新しいMPUを発表した。

○日経パソコン 10月1日号

特集 ブロードバンドまるかじり

→一年前は「フレッツISDN」。今はCATV、ADSLからFTTHや無線サービスなど選択肢が増え料金も急激に下がってきている。それぞれのサービスの違いは何か、自分のところで提供されているかなどアメリカの最新市場を含めて最適なブロードバンドの選び方を紹介。

特集 見えてきた次世代パソコン

→これから数年でパソコンのCPUやバス、メモリは大きく変化する。CPUは低消費電力のものや仮想マルチプロセッサなどが登場し、バスはPCIからシリアルインターフェースが中心になり、メモリはDDR SDRAMが登場する。

○日経バイト 10月号

特集 大穴をふさぐ 即効 セキュリティ強化法

→立て続けに新しいウィルスが登場し、被害がされる中、セキュリティを強化するには何をすべきか、セキュリティ運用の実態は、Windowsのどこに急所があるかなど、これからネットワークにかかわっていく中で他人事でない問題の解説。

特集 簡単便利なスクリプト活用法

→Windowsで作業の自動化を行うためのバッチプログラムのものをサポートするのがWindows Script Host (WSH)。使えば便利なWSHをその仕組みと導入法から実用的なシステム/ネットワーク管理法の紹介まで。

○日経ネットビジネス 9月25日号

特集 EC物流の極意

→物流業界がECへ本格参入している。サービス競争(ネットで物流の決済や荷物追跡ができる)の一部としてECへの参入となっているが、ECでも物流は必要となるので、それをいかに取り込むかでしのぎを削っている。

○N+I MAGAZINE 10月号

特集 クラスタリングで(負荷)と(障害)に強いシステムを作る

→複数台のサーバを1つのサーバのように使うクラスタリングシステム。負荷分散と障害に強いシステムを各OSごとにその構築方法を仕組みから紹介。

特集 「PKI」導入の実践手引き

→ネット上のセキュリティに対する関心が高まっているが、公開鍵インフラストラクチャ〔PKI〕を使った電子認証について、その現在考えられる導入形態と活用法について解説。

特集 「ルータ」設定完全マスタ

→ルータをわかりやすく解説。ルータの導入のメリットは、セキュリティはどうか、ルータを使い切る設定とは。ルータの基本的な動きから実践的設定方法まで。

○ASCII 10月号

特集 Windows XPの秘密を暴く！

→Windows XPのスピード、新機能、互換性の次に来るものは何か。スピード、電源管理、ライセンス、インストールなどについてプラスアルファを徹底探求する。

特集 ブロードバンド最深情報

→普及期に入ったブロードバンドの裏情報満載。ADSLの裏技から最新機器情報まで。

特集 ゲームキューブ ハードの秘密

→発売となった任天堂のゲームキューブ。CPUにIBMのPowerPCの485MHzを使い、24Mと16Mのメモリを持つ。PS2とあとかから繰るX-BOXと戦いを行うゲーム機のハードの分解。